

香川県高齢協グループ機関紙 **2026年 第237号 (1・2月号)**

香川県高齢者生活協同組合/社会福祉法人ひだまり福祉会/一般社団法人香川県高齢者支援協会

ひだまり



香川県高齢者生活協同組合



〒761-1705 高松市香川町川東下 1190-1

TEL 087-899-6311

<http://www.kagawa-koureikyou.org>

FAX 087-899-6312

(組織状況)●組合員数 2,636名 ●出資金額 17,795円(2025年11月末現在)

あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、
穏やかに新年をお迎えのこととお慶
び申し上げます。
また旧年中は高齢協グループの活
動に多くのご支援とご協力を賜り、
心より感謝申し上げます。

理事長 池田 章子



新年のごあいさつ



迎春

本組合は『安心して暮らし続けられる地域づくり』を理念に、生活支援や交流事業など皆様に寄り添った取り組みを進めて参りました。

社会環境が変化するなか、高齢者が孤立せず、生きがいを持って過ごせる仕組みづくりの重要性は年々高まってきております。

本年はこれまでの活動の充実に加え、交流の場づくりや学びの機会の拡大など、より参加しやすい組合運営を目指します。

そして誰もが無理なく支えあい、つながりあえる高齢協グループとなるよう努力して参ります。

結びに、本年が皆様にとって健康で実りある一年となりますようお祈りを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



仲間を募集しています。

◎ 草刈り、植木の剪定、剪定のお手伝い、引越し手伝い、廃材処理

◎ 登録して頂くと、あなたの時間、

できることを誰かのためのサポート側として活躍してみませんか。

◎ 年金プラスαの収入を得る働き方をめざします。

◎ 仕事の依頼もご相談下さい。

仕事おこし事業部

☎080-2990-4586 (森岡)



社会福祉法人ひだまり福祉会

理事長 青梅 スミワ

あけましておめでとうございます。私共は一昨年、高松市から認可を頂き、念願の「社会福祉法人ひだまり福祉会」が誕生いたしました。

令和7年4月からは、香川高齢協で運営されてきた【デイサービス香川ひだまり】【訪問介護事業所ひだまりステーション】【住宅型有料老人ホームひだまり村】の3つの拠点が集まった『ひだまり村』の運営を、社会福祉法人ひだまり福祉会が引き継いでおります。新法人においても、これまで通り地域に深く根差し、継続的に良質な福祉サービスを提供していくという方針に変わりはありません。

これからも地域の皆様に喜んで頂ける福祉サービスを提供すべく、更なる努力を行なって参ります。本年も引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



副理事長・一般社団法人香川県高年齢者支援協会理事長 伊賀 昌吾

「謹んで新春のお慶びを申し上げます」
旧年中は組合員の皆さまをはじめ、関連団体の多くの方々より温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年、社会福祉法人「ひだまり福祉会」が4月1日開業し、はや9ヶ月が経ちました。各事業所での日々の取り組みの積み重ねが、高齢協運動の原点でもある「地域の安心と支え合いの力」を確かなものにしていくと実感しております。本年も、力強く、そして堅実な経営を継続し、地域に必要とされる存在であり続けることを目指してまいります。

「着々寸進、洋々万里」
2026年が、皆さまにとって健やかに希望に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2026年 午年



専務理事 松本 静香

「謹んで新春のお慶びを申し上げます」
また旧年中は当組合の事業運営に対し、温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は福祉事業の発展と拡大を目指し、社会福祉法人としての活動をスタートさせ、設立理念の実現に向けた基礎固めの一年となりました。

この新たな一歩を踏み出せたのも、組合員と地域の皆様のご理解とご協力のおかげと深く感謝しております。
2026年はこの基礎を盤石なものとし、さらに将来を見据えた前進の一歩を踏み出して参ります。そして高齢協グループが一丸となり、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、決意を新たに取組んでいく所存です。皆様の変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2026年 午年

警備していただける人（未経験者大歓迎）を募集!

急募

未経験者でも大丈夫です 丁寧にご指導いたします。
皆さん! すぐに、活躍できますよ 初任者研修後

*組合員の皆さまも、ぜひともお近くのお知り合いの方をご紹介下さい

制服貸与 勤務地、勤務日は、相談可 兼業もOK!

いつでも、お気軽にご連絡ください。

警備事業責任者川西☎080-2851-4338 又は、本部☎087-899-6311 まで



常任理事・生きがい事業部長

善林 功

明けましておめでとうございます。

昨年は、生きがい事業部が大きく脱皮した一年でした。今までは二ヶ月に一回、各同好会の活動報告に終わっていた部会から、高齢協全体を考える部会に変わりました。

いま、高齢協活動に何が必要かを話し合い、高齢協広報活動をいかに進めるかを中心とした高齢協活性化委員会を立ち上げました。具体的な活動内容を計画立案し、その都度理事会に提案してきました。

この活動により各同好会内にも高齢協活動を理解し、会員拡大、ひだまり新聞読者も増えてきています。

今年も、高齢協全体の文化行事である『生き生き、ふれあい祭り』を盛大にできたらと思います、実行委員会を立ち上げて開催に向けて努力していきたいと思っています。

本年もよろしくお願致します。



理事・福祉事業部長

宮本 明美

明けましておめでとうございます。

旧年中は、高齢協グループの運営に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私たちはこれまで、「明るく家庭的な環境づくり」を大切にしながら、利用者様が安心して過ごせる場、ご家族の皆様にも喜んでいただける施設づくりに努めてまいりました。

本年もその姿勢をさらに深め、地域にとつて身近で頼れる存在であり続けられるよう、職員一同、気持ちを新たに取り組んでまいります。

また、施設の安全性とサービスの質の向上を図りながら、一人ひとりに寄り添った支援を実践し、皆様の笑顔がふれる一年となるよう努めてまいります。本年もよろしくお願いたします。



理事・仕事おこし事業部長

天雲 庫三

明けましておめでとうございます。

支援協会は現在、七十名平均年齢74・4歳と多くの仲間が、「地域と社会に役立ち必要とされる仕事や活動」に取り組んでいます

三つの駐車場管理人業務は、受託して19年と長期にご採用頂けており、『タウンキーパー業務』は、二年目に入り通行のお客様やお店の方々から「お疲れさま。きれいになってありがとうございます」とお声をかけて頂けています。

警備事業は、「讃岐株式会社」様との連携事業で、上手く機能して好業績に結びついています。

生活支援事業も固定顧客への誠実な対応により、成果を収めています。

令和8年も、高松丸亀町商店街振興組合様のますますのご隆盛と従事者の私たち全員にとって良き一年となりますよう精進して参りますので、本年もよろしくお願いたします。

通所・泊まり・訪問 すべて使える♪
利用者様・介護職員 募集!
 小規模多機能型居宅介護
ひだまり川島
 〒761-0443 高松市川島東町925-1
 TEL 087-848-2877
 明るいみんなが待っています! 見学も大歓迎!

ふれあいひだまり大運動会

プログラム

1. 開会式・理事長挨拶
日本高齢協連合会 曾我会長挨拶
2. ラジオ体操
3. 玉入れ
4. スプーンレース
5. ダンシングヒーローダンス
6. 風船割り
7. パン食い競争
8. 表彰(青梅会長)
9. 閉会式(伊賀副理事長)



11月21日にひだまり村前広場で、ひだまりふれあい大運動会が開催され、ひだまり川島や香川ひだまりのご利用者様、地域の方々や高齢協組合員様と他県高齢協ブロックの皆さまなどたくさんの方にご参加いただき大盛況となりました。

競技はご利用者様やスタッフだけでなく、地域の方や高齢協ブロックの方々にも参加して頂き、笑いあいの楽しい運動会となりました。

競技前に利用者の皆さんから山地先生ご指導の下、高齢協音頭に合わせてうちわ体操が披露されました。



風船割りでは背中やおしりや踏んで、上手に割られました。またスプーンレースでは、ボールを落とさないように慎重に運ばれていました。



玉入れは赤・白に分かれて皆さんで投げられ、たくさん玉が入っていました。



今回、特に大盛り上がりとなったのはスタッフ対抗での競技です。五チームに分かれて行い、熱心に競い合いました。笑いもあり、とても楽しい運動会となりました。



利用者の皆さんがこの日のために練習をしていたダンシングヒーローのダンスを披露されました。ご利用者様だけでなく地域の方々も一緒に踊ってくださいました。

今年の運動会はふれあい交流会と同時開催となり、たくさんの方々にご参加いただき活気のある楽しい運動会が開催できました。ご参加頂きました皆様のご協力、誠にありがとうございました。



昼食はひだまり特性のちらし寿司と豚汁を皆さんで召し上がっていただきました。



表彰式では、各チーム青梅会長より表彰が行われました。今回の一位は香川ひだまりでした。おめでとうございます。その他、どうしたので賞や最下位で賞などが表彰され笑いの渦に包まれていました。





香川ひだまり

ひだまり村

ひだまりステーション

あけましておめでとうございます。

日頃よりご利用者様、ご家族、地域の皆様や事業関係者様、組合員の皆様には、暖かいご支援とご協力を賜り、無事新年を迎えることが出来ましたことを心より厚く御礼を申し上げます。



昨年は社会福祉法人格を取得し、社会福祉法人ひだまり福祉会の一員として新たなスタートの年となりました。

これからも地域に根ざした施設を目指し、ふれあい交流会などを通して小交流の場を大切にしながら、皆様に安心して利用して頂けるサービスをスタッフ一同で提供してまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ひだまり川島

あけましておめでとうございます。

平素より当事業所の運営に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

今年の利用者一人ひとりの『その人らしさ』を大切にし、より安心して過ごしていただけるように、日々の生活の中で笑顔が自然とあふれる環境を整えることが目標です。職員同士の連携を深め、声掛けやコミュニケーションを図り、施設全体が前向きで活気ある空気に包まれるように努めます。

また、利用者様の残存機能の維持、向上を図るため、個人的な機能訓練を行い、日常生活動作、身体機能の改

善を目標に取り組んでまいります。

本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

理事会報告



2025年 第6回理事会

12月16日(火)開催

本部会議室 14名出席

〈審議事項〉

- 10月度(単月・累計)損益について確認・承認された。
- 第28回通常総代会&第12回定時社員総会が2026年6月21日(日)に開催されることが決定し、式次第・議案等が検討された。
- 高齢協活性化プロジェクト委員会より、これまでの活動状況の成果報告があり、次期開催まで充電期間とすることが決定した。

〈報告事項〉

- 中間監査(今期9月度まで)が2025年11月25日に実施された。
- 社会福祉法人「ひだまり福祉会」の高松市地域共生課による監査(2025年12月11日実施)が滞りなく完了。
- 仕事おこし事業部「就業規則改正」等の届出が無事終了した。
- 生きがい事業部より歌声「さつき」親睦会12月開催などエルダーキャッツ、麻雀クラブ、ダンス同好会、グルメリと散策を楽しむ会の活動報告があった。



事業部 生きがい



宇多津で初の発表会

「歌声やつき」

歌声やつきは11月9日(日)、ユー
プラザうたづにおける「第42回うた
づ秋の文化祭」に初めて出演し、33名

参加のもと発表会を開催しました。
発表曲は「紅葉」「花咲く旅路」「こ
の街で」「手のひらを太陽に」などで、
指導者の由佐洋子先生の指揮のもと、
日ごろの練習の成果をぶつけました。



昨年まで実施していた丸亀市生涯
学習センターの閉館に伴い、普段の練
習、発表会とも新天地でのチャレンジ。
メンバーも「丸亀は丸亀で良い思い
出があったが、ユープラザは音響や照
明が思った以上に素晴らしくて、思い
出深いステージになりました。来年に
向けて、これからの練習の励みになリ
ます」と満足そうに話していました。

【事業部11月例会参加レポート】

昨年11月22日に本部にて開催さ
れた生きがい部会の例会に参加して
きました。池田理事長、伊賀副理事長
はじめ各同好会の代表者らが出席し、

活動報告や今後の方向性などを発表。

総括で池田理事長は各同好会の自
主的で活発な活動に謝意を述べると
ともに、「今後は近県の高齢協との合
同発表会や合同練習、大会など、生き
がい事業を通じた交流が図れるとよ
り活性化するのは」と提案があり、
賛成の意見が多くを占めました。

《エルダーキャッツ》

9月20日に多肥コミセンにおいて
「岩山家の場合」を上演。令和8年
は劇団玄との合同公演で「素晴らし
きかなわれらが人生」を計画。

《ダンスを楽しむ会》

11月にトレストア白山にてダンスサ
ークルクと100名規模のダンスパーテ
イ。今年3月には三木町農村環境改
善センターにてダンスパーティを予定。

《ボウリング同好会》

10月14日に理事長杯の大会を開
催。会員は昨年8月に1名、9月
1名、11月2名の入会で総勢34
会員。12月には6名入会の見込み。

《詰田川自然農園》

12月末をもって閉園。

《麻雀を楽しむ会》

8名のメンバーおよび2名の予備
軍で活動。会員のキャリア、レベルのバ
ランスがとれているのが特徴。12月

25日には大会を実施した。

発表会は上記の通りで、次回は50
名体制でのステージが目標。登録は
300名おり、普段の練習から50名の参
加を目指す。引き続き広報活動を強化。

《ダンス十八番》

年末の店内外のリニューアルを経て、
新年よりダンスパーティを再開。従来
通り月2回のダンスパーティを継続。

《ひだまり麻雀会》

12月6日の第3回麻雀大会に
は過去最多の16名が出席。大会は
6月と12月の定例化を企図。拠点
のサロンの老朽化に伴う修繕を要望。6

《さぬき満月会》

9名で活動。11月にはコミセンに
て踊りに参加。讃岐にまつわる踊りを
中心に、歌謡曲にも幅を広げている。

《グルメと散策を楽しむ会》

11月30日には8回目となるツア
ーで別子銅山を訪問。西讃地区から
の参加者も増加中。少ない男性参加
者を増やす企画も検討していく。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

各同好会とも新規会員を絶賛募集
中ですので、興味がある方は巻末12
ページの連絡先までお電話を!!



Pick Up ひだまり人

高齢協劇団「エルダーキャッツ」
副団長

榮野 嘉江さん



劇団最年少の末っ子。尊敬する大先輩たちに囲まれ「こういう風にとりたい」

「演劇経験は小学校の学芸会での猿の役くらい」というのが信じられないほど、舞台での存在感と落ち着きは目を見張るものがあり、一方で副団長という重責も気負わず自然体でこなす。91歳の小西団長はじめ、70～80代が軸のエルダーキャッツにあってはまさに末っ子で、「皆に可愛がってもらってます」と屈託なく微笑む。

入団は7年ほど前。テレビCMで、おばあちゃんが孫のバイクの後席に乗りひまわり畑に行くシーンをみて「いつかこういうおばあちゃん役をやりたい」とスイッチが入り、地元の劇団を探し、辿り着いたのがエルダーキャッツ。縁もゆかりもない劇団だが、好々爺の小西団長との初対面で「この人だったら騙されない(笑)」と門を叩いた。

「高齢者の劇団というので正直、興味本位で見学に行きましたが、生き生きと芝居する姿に体に電流が走るような衝撃を覚えました」と述懐。「練習と異なり、本番での桁違いの迫力やアドリブなど、すべてにおいて高いプロ意識とプライドを感じましたね」と、当時抱いた諸先輩への憧憬は今なお自身の役作りのバイブルだ。

舞台のサポート役などで芝居を学び 2021年、レクザムホールでの「平賀源内 珍説『油驚騒曲』」でカラオケ店の女主人として初舞台。自身のことより、「小西団長が長い長いセリフを前日までかかって必死で覚えていたのが印象的」と、心から尊敬する団長と同じ舞台で時を刻んだ喜びこそが、何にも代え難い思い出のようだ。

いまはその小西団長を支える副団長として、劇団の未来図にも心を砕く。「高齢協劇団ではあるが、団員の高齢化や体調の問題は避けて通れない。コミセンや福祉施設の慰問など、小さいステージを大切にしていきたい」とひとつの方向性。一方で小学校高学年に「高松空襲の夜」を朗読劇として上演したり、さらには芝居として舞台で展開することで、戦争の語り部を担っていくこともエルダーキャッツが果たすべき使命と捉えているようだ。

平日は障がいを持つ児童向け学童保育施設で働き、日曜はエルダーキャッツの稽古に励む充実の日々。長女、次女、長男は近くに暮らし、ほぼ毎週末は孫10人を含む総勢16人での食卓が活力の淵源。愛媛県出身。



訪問介護事業所ひだまりステーション

香川県高松市香川町川東下 1190-1

☎087-899-6314

利用者さんと登録ヘルパーさん募集中!

いつもの生活を送るお手伝いをしています



所在不明組合員のみなし自由脱退に関する公告

定款第10条第2項及び所在不明組合員のみなし自由脱退手続きに関する規約に基づき、住所の変更届が2年間行われず、2期連続して通知書等が宛先不明で返送され電話連絡でも所在を確認できなかった組合員を自由脱退の予告があったものとみなし、みなし自由脱退対象者とします。

所在不明組合員の名簿は高齢協の本部事務所の店頭に設置する掲示板に公告しています。

公告期間 2026年2月1日から2026年3月15日

公告期間中に住所変更の申し出があった場合はみなし自由脱退対象者から除外します。申し出がない所在不明組合員は、2026年3月31日をもってみなし自由脱退による脱退手続きを行います。

上記の名簿以外の方も、住所変更があった場合は、随時ご連絡をお願いいたします。

香川県高齢者生活協同組合
理事長 池田章子

「第28回通常総代会」「第12回定時社員総会」は**2026年6月21日(日)**に

開催が決定!!

今年(2026年)は第28回通常総代会) 総代と役員改選の年です。

「総代会と総代の役割について」

香川県高齢者生活協同組合は、組合員の皆さまに出資をしていただく組織で、組合員が「一人一票」の議決権を持って、事業運営を行っています。

しかし、組合員が一堂に会することは不可能です。そこで、組合員の代表として選出された総代が、通常総代会へ出席し、一年間の事業・活動の総括と、新しい年度の事業・活動の計画など提案される議案を審議し、決定します。

総代のもう一つの役割は、決定された事業・活動計画を日常的な活動の中で実行する中心的役割です。それぞれの地域の『目と耳』として、地域の状況を反映し、組合員の求めや状況を『声』として届ける役割であり、組合の事業・活動をより豊かにする大切な存在です。

任期は2年、再選に妨げはありません。

*総代選挙要領等は次号238号(3・4月)にてお知らせいたします。



第3回ひだまり親睦麻雀大会

第3回理事長杯ひだまり親睦麻雀大会がさる12月6日(土)、ひだまりサロンにて開催されました。



今回ははじめて4卓16名で実施。前半飛び出した女性雀士の青山とよ子さんと最高齢の岩部和一さんを、嶋岡敏信さんと廣瀬義文さんが虎視眈々と後を追う展開に。

後半は岩部さんが失速し、善戦の青

山さんが3位をキープ。結局嶋岡さんと廣瀬さんが怒涛の追い込みで初の同点でゴールし、規定によりジャンケン三本勝負にて嶋岡さんが初優勝の栄に浴しました。



残念ながら山本光重さんは連覇とならず、また初参加の牛尾健一さんが初の役満『四暗刻』をゲットするなど、初物づくしの大会となりました。



今回は当日賞(谷 秀夫さん)、当月

賞(川西純一さん)、残念賞(吉田孝子さん)といった表彰を追加したほか、ランチも提供するなど、回を重ねるごとに内容もブラッシュアップされています。

〇九〇二八九五三三四七(津田)



中四国・九州沖縄ブロック会議 (in 香川) を開催

日時：令和7年11月20日(木)～21日(金)

場所：高松市生涯学習センター(一日目) 高松協本部(二日目)

日本高齢者生活協同組合連合会主催の中四国・九州沖縄ブロック会議が2日間の日程で開催されました。

同連合会会長 曾我秀秋氏を含み高知高齢協より3名、沖縄高齢協より4名、岡山高齢協5名、香川高齢協の理事会メンバーら18名の30名が一堂に参加しました。

一日目は、今回のテーマである「人件費高騰問題と人材不足問題」などについて熱心に討議されました。

又、並行してそれぞれの単協が抱える課題などについて意見交換がなされ参加者一同、タイムリーで有意義な会議となりました。

二日目は、香川高齢協本部でこの

日に合わせて実施された秋の「ひだまり大運動会」(4頁参照)にブロック会議メンバーも参加しました。
「玉入れ」「パン食いレース」などに参戦し、昼は「香川ひだまり」名物の美味しいお寿司と豚汁に舌つづみを打ち、利用者の皆さまと楽しく交流できた運動会となりました。(伊賀昌吾記)



あなたを守り隊手帳

丸亀町クリニック通信 34

「丸亀町のクリスタルドーム」

丸亀町吉番街ドーム…その高さは32.2m、日本一の高さを誇るアーケードドームです。素材はクリスタルガラス、100年以上の耐久性があるそうです。いまや高松の市街地のランドマークになって、たくさんの人々がその下を行き交います。

私たちはそのクリスタルドームを毎日見上げながら、患者さんと共に過ごしています。

晴れの日



少し気持ちが沈んでいてもなんとなく元気が湧いてきます。

曇りの日



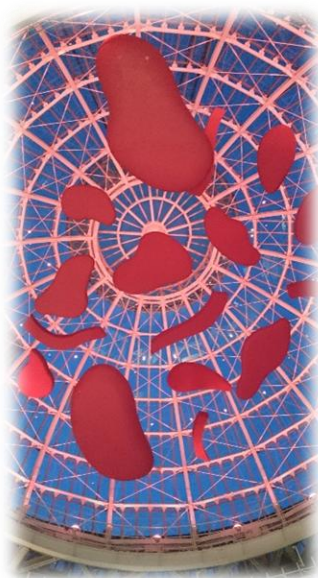
少し気持ちが落ち着かない日も穏やかな気持ちになります。

夜



幻想的な雰囲気気持ち癒され一日の疲れも消えてしまいます。

そして10月は、乳がん月間に合わせて、啓発運動のシンボルカラーであるピンク色にライトアップされ、乳がんの早期発見や治療、検診を買い物客らに呼び掛けていました。



丸亀町クリニックは、これからもドームとともに患者さんに寄り添いながら100年歩き続けていきたいと思っています。

丸亀町クリニック 宮川 芳幸



利用者様

募集中!

デイサービス

香川ひだまり

見学・体験 大歓迎 です!

手作りの昼食無料提供いたします

〒761-1705 高松市香川町川東下 1190-1

月～土曜日 10:00～15:30 TEL 087-889-5011



エッセイ



長崎の鼻

庵治半島のすぐ西隣りに屋島がある。地図では陸地と繋がっているように見えるが、屋島の根元を流れて両端が海に繋がった相引川にかかったいくつかの橋を取り去れば「島」だとよく分かる。その屋島の先端付近に盲腸のようにチョコンと出た「長崎の鼻」がある。風光明媚な名所だが、特に夕陽の美しさで知られていた。

ある日、船ファンの知人三人を案内して「長崎の鼻」を訪れることになった。海に沿ったドライブウェイを車で走り、途中から石ころだらけの狭い山道に逸れると数分で行き止まりの駐車場に着く。車を降りて海に向かった百メートル程の階段を下っていると、その途中、高松港を出航した小豆島行のフェリーが目の前を通りかかった。

知人たちの「うわあ〜」の大きな歓声が響くと同時に、それぞれがスマホ片手に目の前のフェリーを追いはじめた。



長崎の鼻

私は小豆島行きフェリーと、反対からやって来る高松港に入るジャンボフェリーが、この時間にこの場所で擦れ違うことを知っていたので、子どものようにはしゃぐ知人らをちよつぱり幸せな気持ちで眺めていたが、ふと気がつく通過したばかりのフェリーの波が心地よいリズムで、足元に打ち寄せていた。

さて、「長崎の鼻」の命名についてだが、ここが九州の長崎にでもあれば納得できるが、香川にあるのに何故「長崎の鼻」なのか。私同様、疑問に思え

る人もいることだろう。

日本は昔から陸地の先端を「鼻」と呼んでいた。顔の先端が鼻だからだろうか。陸地から長く伸びた先崎なので、「長崎の鼻」になったようで九州の長崎とは全く関係がない。全国に同名の岬は結構あるようだ。

そうこうしている間に、ジャンボフェリーの「アオイ」が、東からこちらへ向かってきた。一年程前に就航した、全長が百三十メートル以上もある新造船で、高松と神戸の間を結んでいる。

船大好きの三人たちの「うわあ〜」の歓声があがると同時に、その思いがけない光景に。こんなチャンスはまたとないといわんばかりに、無我夢中になってシャッターを押しまくっていた。私はそんな光景に目を細めて眺めていた。

この船を見る度に、私は同じ大きさの青函連絡船を思い出す。もし船首を尖(とが)らせ、上甲板の客室を後方に少し延ばせば青函連絡船のものになる。津軽海峡の荒波を乗り切っていた若かりし頃の様々な思い出がよみがえってくる。

親しい知人たちとの一日は、思いがけずかつての職場だった青函連絡船の日々に私を連れ戻してくれた楽しい時間だったが、砲台の小さな斜面で足をよるめかせて、尻もちをついてしまった。起き上がるのに難儀している私の手を仲間のひとりが引つ張ってくれたが、足腰の弱っていることを否応なく実感した日でもあった。



お正月

- 一 もういくつねると お正月
お正月には 凧(たこ) あげて
こまをまわして 遊びましょう
はやく来い来い お正月
- 二 もういくつねると お正月
お正月には まりついて
おいはねついて 遊びましょう
早く来い来い お正月

文と切り絵 萩原幹生

2026年1~3月 行事案内

ひだまり倶楽部「春の法要」

■日 時 3月20日(金/春分の日)10時～

■場 所 圓通寺(高松市西ハゼ町)

■内 容 野田住職による法要(9時30分頃よりお寺周辺の草抜きと清掃を行います)

お問い合わせは高齢協本部 ☎087-899-6311 まで。

ご一緒に楽しみませんか？

▲高松教室 (高齢協本部)

▲ひだまり麻雀会 ☎津田 090-2895-3347

・毎週土曜日(例会)と

月2回火曜日(教室)

設備【自動卓(2台)・手動卓(2台)】

会場:ひだまり村内ひだまりサロン

▲高齢協劇団「エルダーキャッツ」(13時30分～16時30分)

・毎週日曜日 木太コミュニティセンター

☎榮野 090-9455-5728

▲讃木会 ☎三宅 090-7141-7297

▲ボウリング同好会 ☎木村 090-4501-3423

▲ダンスを楽しむ会

・毎週金曜日(13時～15時) 木太コミュニティセンター

☎木村 090-4501-3423

▲麻雀を楽しむ会 ☎河井 090-2787-9963

・毎週月・木曜日(11時30分～15時)

▲グルメと散策を楽しむ会 ☎二宮 090-4974-8457

▲さぬき満月会 ☎岡野 090-5273-1931

■ご意見・お問い合わせは各部会の代表または高齢協本部まで 高齢協本部 ☎087-899-6311

▲西讃地域センター

▲琴平・ダンス十八番(13時～17時) 毎月第2第4日曜日

店内改装のためダンスパーティーはしばらくお休み。

通常営業は従来通り

☎日野 090-3188-1672

▲歌声「さつき」(13時30分～15時30分)

・月2回(1/8・22、2/12・26、3/5・26)

宇多津町保健センター(町役場東隣)4階

☎奥山 090-2825-8849



▼新年号をお届けします。香川高齢協も昨年は念願の社会福祉法人を設立し、福祉事業の一部を移管するなど、未来に繋がるエポックメイキングな出来事が記憶に新しいのではないかと思います。福祉事業においては生協という組織ではいろいろと制約があるなか、設立以来、営々と築いてきたキャリアが存分に生かせる社会福祉法人を母体とすることで明るい未来への扉に手をかけたといえるでしょう。仕事おこし事業部から派生して誕生した一般社団法人香川県高齢者支援協会がうまく機能している成功事例もあり、香川高齢協の柔軟な組織運営は他地域の高齢協からの注目度も高いようです。▼11月には高齢協中四国・九州沖縄ブロック会議が高松で開催され、香川高齢協はホスト役として奮闘しました。他県の高齢協が福祉事業に偏重する傾向が強いなか、『福祉』『仕事おこし』『生きがい』をバランスよく実践する当組合は、高齢協のあるべき姿を地で行く理想形という評価も決して大袈裟ではないと思います。現理事はもちろん、先人たちの熱量の結晶ともいえます。▼先ごろ参加した生きがい部会にて「他生協の同好会との合同発表会や練習、対戦など交流が図れたら良い」という意見が聞かれました。移動や会場などの課題もあると思いますが、趣味を通じた人的交流は非常に良いアイデアだと思います。(SH)